

2022年(令和4年)9月8日 木曜日

文筆業の実情 浜坂高生に

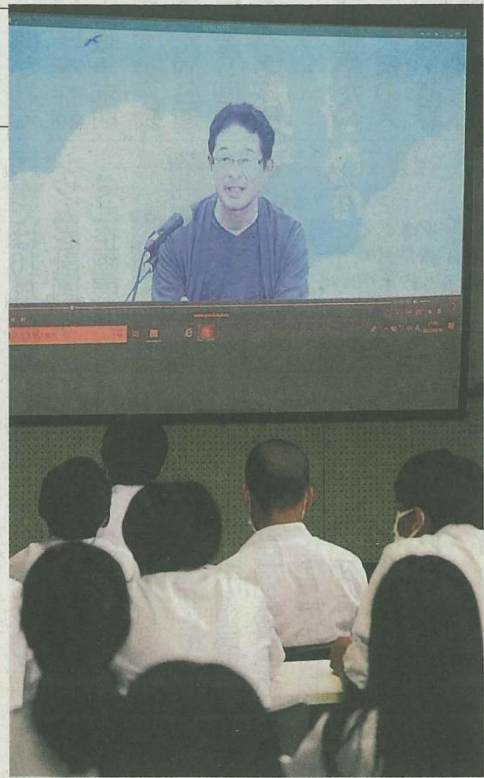
新温泉

作家や評論家を講師に招く「高校生のための文化講演会」(神戸新聞社など主催)が6日、新温泉町芦屋の浜坂高校であり、ライトノベル「カンピオーネー」シリーズで知られる小説家の文月城(つづきしろ)さんが、1年生約60人に文筆業について語った。

小説家の文月城さん講演 自身のデビュー経緯など

で実施しており、今年は新型コロナウイルスの感染対策でDVDに事前収録した。作家を目指したきっかけについて、「学生時代にライターとして関わったゲーム制作会社がスタートライン」と文月さん。身近にプロのクリエイターが何人もいる環境で自分に求める基準も引き上げられたとし、デビュー作のアイデアを思いついた時、自然に「書いてみるかな」と思ったとい

文筆業について語る文月城さん
＝浜坂高校



う。文月さんのようにライトノベルを軸に活動する作家は、小説だけでなく漫画の原作や舞台、ドラマ、アニメ、ゲームのシナリオも手がけるといい、「最近はずっとスマートフォンで遊ぶソーシャルゲームのシナリオ執筆も増えた」とした。生徒からは事前に質問を募り、「最近、(キャラク

ターが別の世界に転生したり、召喚されたりする)『異世界もの』が流行しているのはなぜか」との問いには「異世界ものの小説は漫画版がよく売れたり、アニメ展開した場合に海外で受けがよかったりする」と答えた。

中井静乃(しずの)さん(16)は「自分のペースで仕事ができる環境だから、すてきな作品ができるんだろうな」。村尾田海(うら)さん(16)は「フリーランスは、人と違うことを積極的に行うのがいいな」と話した。

(長谷部崇)